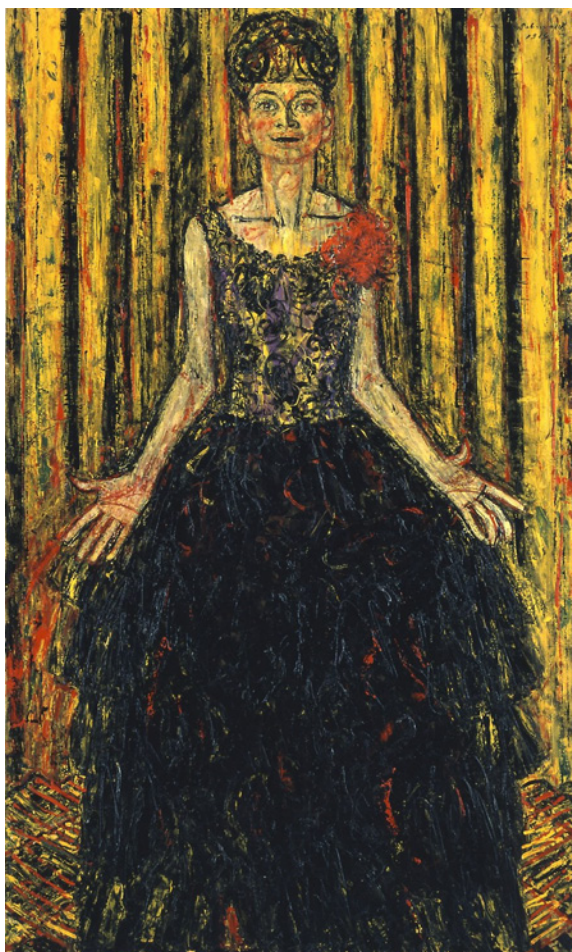


宮本三郎
装飾性の展開
2018.9.8^(sat)
…
2019.3.17^(sun)

M I Y A M O T O S A B U R O
THE DEVELOPMENT OF DECORATIVE QUALITIES



《歌い手》1964年

宮本三郎 装飾性の展開
The Development of Decorative Qualities
2018.9.8. sat ~ 2019.3.17. sun

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館
Miyamoto Saburo Memorial Museum

- 展覧会名 平成 30 年度第 II 期収蔵品展
「宮本三郎 装飾性の展開 The Development of Decorative Qualities」
- 会 期 2018 年 9 月 8 日 [土] ~ 2019 年 3 月 17 日 [日]
- 会 場 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館 Miyamoto Saburo Memorial Museum
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-38-13
03-5483-3836
www.miyamotosaburo-annex.jp
- 主 催 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷美術館
- 開館時間 10 時 ~ 18 時 (入館は 17 時 30 分まで)
- 休 館 日 毎週月曜日 (月曜日が祝休日の場合は開館、翌平日は休館)、
年末年始 (2018 年 12 月 29 日 [土] ~ 2019 年 1 月 3 日 [木])
- 観 覧 料 一般 200 円 (160 円)、大高生 150 円 (120 円)、65 歳以上、中小生 100 円 (80 円)、
障害者 100 円 (80 円) ただし小中高大生の障害者は無料、介助者 (当該障害者 1 名につき 1 名)
は無料 ※ () 内は 20 名以上の団体料金 / 小中学生は土日、祝休日は無料

宮本三郎 装飾性の展開

MIYAMOTO SABURO : THE DEVELOPMENT OF DECORATIVE QUALITIES

写実表現を得意としていた洋画家・宮本三郎（1905-1974）。生前より定評のあったその描写力は、ともすれば技巧的ともとられかねないものかもしれません。一方で、宮本の作品を眺めるとき、平坦な背景や画面構成のあり方にも目が留まります。宮本の技術を際立たせ、さらに作品としての魅力とバランスを与えていたのは、この、フラットで装飾的な画面構成だったのではないのでしょうか——本展では、そうした問いから出発して、「装飾性」をキーワードに、初期から晩年までの宮本三郎の画業を追います。

また、生涯のうち二度の渡欧を実現し、さらに西欧の美術に多くを学んでいた宮本ですが、それは同時に、自身が「日本の洋画家」であることの意味と意義を追求することを意味していました。日本美術の特色の一つともいえる装飾性は、たとえば江戸時代の浮世絵がクロード・モネやフィンセント・ファン・ゴッホに驚きをもって迎え入れられたように、海外の画家たちにも深く影響を与えています。それが、宮本の作品世界にある種のアイデンティティとオリジナリティを与える要素であったともいえることを、数多くの作品が物語っています。

生涯を通じて多彩な表現に挑み続けた宮本三郎。その作品世界に通底する魅力を、「装飾性の展開」という視点から探ります。



《蚊帳》1939 年



《死の家族》1950 年



《赤松と溪流》1935 年



《農夫》1957 年



《假眠》1974 年

◇各画像は広報用として提供しております。ご希望の際は広報担当までお問い合わせください◇

宮本三郎（みやもと・さぶろう）について

1905 年 5 月 23 日に現在の石川県小松市松崎町に生まれ、1935 年 7 月より世田谷区奥沢にアトリエを構えた、昭和を代表する世田谷区ゆかりの洋画家です。

川端画学校で富永勝重、藤島武二、また個人的には安井曾太郎に指導を受け、戦前は二科展を中心に発表を行いながら、雑誌の挿絵や表紙絵の制作でも活躍。戦時中は従軍画家として藤田嗣治、小磯良平らとともにマレー半島、タイ、シンガポールなどに渡り《山下、パーシバル両司令官会見図》（1942 年）をはじめ、数々の作戦記録画を制作しました。

戦後は、熊谷守一、田村孝之介らと第二紀会を設立。生来の素描力を土台に、さまざまに画風を変えながらも、人物を主たるテーマとして制作、晩年は花と裸婦を主題にした豪華絢爛な絵画世界を構築します。1974 年 10 月 13 日腸閉塞による心臓衰弱のため、69 歳で他界。



宮本三郎 装飾性の展開

MIYAMOTO SABURO : THE DEVELOPMENT OF DECORATIVE QUALITIES

関連イベント

◆ ギャラリートーク

担当学芸員による展示解説。入館料のみでどなたでもご参加いただけます。

日 時 2019 年 3 月 2 日 [土] 11 時～

場 所 当館 2 階展示室

参加費 無料（観覧料別途）

※事前申込不要／20 分程度

◇◇このほか、当館では年間を通して講演会やワークショップ、コンサートなどを開催しています◇◇

◆ 音広場「ニューイヤーコンサート」

新春の美術館展示室で、弦楽四重奏の調べを作品と共に
お楽しみいただくコンサート。2010 年より始まり今年で
9 年目を迎える、毎年ご好評を頂いているイベントです。

宮本三郎記念美術館と地域の会共催

出 演 アコルディ弦楽四重奏団

日 時 2019 年 1 月 27 日 [日]

19 時 30 分～21 時（開場 19 時）

場 所 当館 2 階展示室

定 員 事前申込（11/25 受付開始）先着 45 名

参加費 1,500 円（展覧会観覧料含む）



展示室でのコンサートの様子（2017 年）

お申込方法

①イベント名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号

（1 通で 2 名様までお申し込みできます。その際は、お連れ様のお名前も必ずご明記ください）

以上を、メールまたは往復はがきで「宮本三郎記念美術館 イベント係」宛にお送りください。

メール：miyamoto.event@samuseum.gr.jp

往復はがき：〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-38-13

もしくは直接ご来館ください（受付時間：開館日の 10 時～17 時 30 分）

交通案内

東急東横線・大井町線「自由が丘」駅下車／徒歩 7 分

東急大井町線「九品仏」駅下車／徒歩 8 分

東急目黒線「奥沢」駅下車／徒歩 8 分

東急バス（渋 11）渋谷駅～田園調布駅「奥沢六丁目」下車／徒歩 1 分

東急バス（園 01）千歳船橋～田園調布駅「浄水場前」下車／徒歩 10 分

※当館の来館者用駐車場は、車椅子の方用スペース 1 台分のみとなります

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-38-13

www.miyamotosaburo-annex.jp

お問い合わせ先：

宮本三郎記念美術館

森（広報担当）

石井（展覧会担当 世田谷美術館学芸員）

TEL. 03-5483-3836 FAX. 03-3722-5181

MAIL. miyamoto.annex@samuseum.gr.jp